

## 地域冷暖房施設の省エネに向けた取組

---

地域冷暖房と建物のBEMSデータが連携した需給最適制御の推進に向けた取組

## 方針3 【環境・防災】

## 次世代都市インフラの創出による環境にやさしく強靱なまちの実現

### 3-① 持続可能な社会を目指し、エネルギーの脱炭素化を実現

- 地域冷暖房の熱供給事業者と熱供給を受ける建物側が連携し、熱需要情報の相互共有を図るとともに、地区内の未利用熱を活用するなど、地区の省エネルギーを推進します。
- 地域冷暖房プラントにおいて、電力や熱を創るコージェネレーションシステムや蓄熱システム等の導入を推進し、エネルギーの調整機能を高めます。
- 地下空間等を有効活用した最新鋭の地域冷暖房プラントを新設し、周辺ビルとつながったブロックの形成により、まちのスマートエネルギー化を進めるとともに、再生可能エネルギーやメタネーション等によるカーボンニュートラルな都市ガス等を導入し、地区全体の脱炭素化を推進します。
- ビルの大規模更新等を契機に、太陽光発電設備や太陽熱利用設備、蓄電池などを導入し、地区内外の再生可能エネルギーを積極的に活用するなど、ゼロエミッションビルディングの拡大を推進します。
- 地域交通として活用する次世代モビリティ等について、環境にやさしいゼロエミッションビークルの導入を推進します。

### 【地域冷暖房施設としての取組】

将来的に既存地域冷暖房を「スマートエネルギーネットワーク」へ再生させるためのステップとして建物のBEMSデータ（※）と連携した需要と供給の最適制御の推進、電力需給ひっ迫状況改善への貢献、カーボンニュートラル化の推進を図る。

（※）Building Energy Management Systemの略。

各種センサーや監視装置、制御装置などの要素技術で構成されたビルエネルギー管理システム